

Hip Joint news

(公財) 日本股関節研究振興財団会報

URL <https://www.kokansetu.or.jp>

E-mail info@kokansetu.or.jp

第17号 令和5年 冬・春号

発行 公益財団法人
日本股関節研究振興財団

〒154-0011
東京都世田谷区上馬 1-13-11

電話 03-3421-6552
FAX 03-3421-6716

公益財団法人日本股関節研究振興財団 理事
京都大学 名誉教授

森谷 敏夫



世界初のエビデンスを報告した。さらに、前十字靱帯再建手術後の患者の筋萎縮の予防に対応する筋電気刺激療法の効果も報告してきた。

骨格筋電気刺激による運動療法の可能性

超高齢化社会を迎えた今日、寝たきり患者や慢性的な運動不足者、体力の低下した人々、あるいは過度の肥満や整形外科的疾患などのために、運動を行えない人々が多数存在する。さらには、糖尿病性合併症や心血管系合併症などの臓器障害により、運動制限を必要とする患者も多く認められる。このような人々は、身体の不活動がもたらす不利益を甘んじて受けなければならない状況にあり、有酸素運動やレジスタンス運動の代償となる運動方法の開発が早急に望まれる。小生は京都大学で骨格筋電気刺激療法を利用して、糖尿病性筋萎縮や糖・エネルギー代謝に及ぼす効果について30年余り研究を行つた経緯がある。この手法は、胴、大腿、下腿にベルト型電極を装着して骨格筋に皮膚表面から電気刺激を加え、筋収縮を誘発するも

ので、寝たきり患者や体力が低下した患者であっても施行可能である。また、実際の運動に比して、呼吸循環系や関節への負担がない状態で筋収縮を惹起することができるのである。

通常の随意運動時には、収縮張力が低く、疲労しにくい遅筋線維から順次動員され、強い収縮時に速筋線維が動員される。対照的に、骨格筋電気刺激では、オームの法則により、刺激電流が抵抗の少ない太い神経線維で支配される速筋線維が主に動員される。つまり強度の運動を要求することなく、筋電気刺激では速筋のエネルギー源であるグリコーゲンなどの糖質の利用が高いものと考えられることから、糖尿病の代謝

象に在宅での8週間の筋電気刺激療法が認知症の予防・改善に有効な脳由来神経栄養因（BDNF）を有意に増加させることを報告した。これらの知見は、筋電気刺激療法により糖尿病合併症や心血管系合併症、その他の整形外科的拘束によつて運動が制限される人々などに筋肥大、エネルギー代謝、認知機能などの改善効果を享受しうる可能性を示唆しており、介護予防、予防医学・治療医学の観点からも今後の研究が期待される。



小児股関節への取組み のご紹介

今年度は、成人～高齢者の変形性股関節症の潜在的な原因である
小児股関節にスポットを当てて、取組んでまいります。

赤ちゃんの股関節 大丈夫ですか？

発育性股関節形成不全 名医の座談会

「赤ちゃんの股関節大丈夫ですか？」をテーマに、小児股関節の専門家である東京慈恵会医科大学教授で前日本小児整形外科学会理事長の大谷卓也先生と、社会福祉法人信濃医療福祉センター理事長の朝貝芳美先生及び当財団の別府理事長とでてい談を行いました。

大谷先生には「乳児の股関節脱臼検診の学会としての取組み」、そして朝貝先生には「発育性股関節形成不全の最も重要である予防について」をお話をいただきました。

また、「小児股関節ステッカー」の無料配布も開始いたしました。

ステッカー記載の QR コードより、「小児と股関節」の特設ページ及び YouTube にてこの度のてい談動画をご覧いただけます。



ステッカーのお申込みは左記の QR コードもしくは、下記の URL より行っております。是非、お申込みください。

https://www.kokansetu.or.jp/personal/ddh_stickers.html



第32回股関節研究セミナー・ウェビナー

去る令和4年11月4日(金)に、第32回股関節研究セミナーをMicrosoft Teamsを用いたウェビナー形式で行いました。昨年に引き続きウェビナー形式となりましたが、40数名の参加があり大変盛況な内容となりました。

ご興味のある方はYouTubeで内容が限定公開されておりますので、右記のQRコードよりご覧ください。



令和4年度股関節研究助成金交付者

プライムメディカ賞

「インプラントアライメントが腸腰筋インピンジメントの病態に与える影響
-未固定遺体とシート状圧センサーを用いた検討-」

徳島大学 玉置康晃先生

「ロボティックナビゲーションを併用することで、人工股関節置換術
を施行された患者の術後歩容は健常者レベルまで改善できるか」
神奈川リハビリテーション病院 佐藤龍一先生



徳島大学
玉置 康晃 先生



神奈川リハビリテーション病院
佐藤 龍一 先生

令和4年度股関節国内研修助成交付者



東京都健康長寿医療センター
金子 泰三 先生



仙台赤十字病院
栗島 宏明 先生



北海道大学
横田 隼一 先生



大阪医科大学
若間 仁司 先生

HJFJ 人工関節ステッカー

人工股関節のイラストに人工膝関節を加えて、日本語・英語・スペイン語・中国語の表記を追加し、「HJFJ 人工関節ステッカー」として無料で配布しております。

※サイズ 7.1cm×4.4 cm

☆入手方法

電話、または URL・QR コードより当財団 WEB サイトからお申込みください。

電話 03-3421-6552

URL <https://www.kokansetu.or.jp/personal/hjfjsticker.html>



サポート会員のご案内

当財団は、股関節の研究を行っている研究者への助成、一般の皆様への股関節の知識の啓発等様々な股関節関連の事業を行っています。是非、サポート会員に入会していただき、股関節を支える活動にご協力下さい。

☆年会費

一口 3,000 円 から

☆申込方法

電話、または URL・QR コードより当財団 WEB サイトからお申込みください。

受付後、当財団より振込用紙を送付いたしますので、郵便局にてお手続きをお願いいたします。

電話 03-3421-6552

URL <https://www.kokansetu.or.jp/sanjyo/support.html>

☆税制優遇措置に関して

当財団は特定公益増進法人ですので、

サポート会費は、寄附控除として税金の優遇を受けることができます。



役員名簿

理事長	別府諸兄	(聖マリアンナ医科大学名誉教授)
専務理事	泉田良一	(江戸川病院慶友人工関節センター長)
理事	飯田寛和	(関西医科大学リハビリテーション学部 学部長)
岩本幸英	（医療法人相生会 最高顧問）	
大久保康一	（藤崎病院 副院長）	
白土英明	（船橋整形外科病院 院長）	
富森浩二	（帝人ファーマ（株）研究開発技術本部 医療政策室 特命部長）	
内藤正俊	（福岡中央病院 病院長）	
中島義雄	（帝人ナカシマディカル（株）代表取締役会長）	
樋口富士男	（柳川リハビリテーション病院 名誉院長）	
本間生夫	（昭和大学 名譽教授）	
森谷敏夫	（京都大学 名譽教授）	
下西博夫	（元帝人（株）事業管理部長）	
東郷良尚	（前（公財）日本ユニセフ協会 副会長）	
秋山治彦	（岐阜大学 病院長・教授）	
石井千恵	（清心会藤沢病院 本部長）	
鈴木啓明	（旭化成ファーマ（株）メディカルアフェアーズ部 第2グループグループ長）	
谷眞人	（日比谷見附法律事務所 弁護士）	
富田直秀	（京都大学 名譽教授）	
秦野るり子	（前江戸川大学 教授）	
別府裕美子	（メディカルフィットネス研究所 代表）	
間島直彦	（愛媛大学 教授）	
山本謙吾	（東京医科大学 病院長・教授）	
米倉芳枝	（元東京家裁調停委員）	
(令和5年1月現在) (敬称略・五十音順)		